

せつこっこクラブ7月

「切り紙で挑戦！バラ窓もようのオーナメントづくり！」

開催結果報告

日 時：令和2年7月25日（土）午後2時～4時

参加人数：12名（内訳：小学1年生4名、2年生3名、3年生2名、5年生2名、6年生1名）

参加費：300円（材料費）

職 員：大村、長岡、名和

「せつこっこクラブ」は子どもたちに三岸節子作品や芸術に親しんでもらうため、およそ毎月1回、開催しているワークショップです。

今月のせつこっこクラブでは、三岸節子が訪れ、作品のモチーフとして描いたフランスのノートルダム大聖堂、シャルトル大聖堂に、華やかなステンドグラスの大窓「バラ窓」があったことにちなみ、バラ窓もようのオーナメントづくりを開催しました。6月まで開催のコレクション展「城館めぐり」にあわせ設定したテーマでしたが、残念ながら新型コロナウイルス感染拡大によって臨時休館となり、本ワークショップは7月に延期開催となってしまいました。しかし、改めて募集した今回は申込数も多く、参加者のみなさんとても熱心に参加してくれました。



最初にバラ窓はどんなものなのか、シャルトル大聖堂の写真から紹介し、さっそく模様選び&色選び！配布した「もようシート」や飾ってある完成見本を見ながら、作りたい模様と使いたい色紙3枚をみんなに決めてもらいました。

今回は模様みほんを6種類用意。難易度の高い、本物のバラ窓みたいにつくることのできる図も用意してみたのですが、果敢に挑戦してくれる子がいました！

作りたい組み合わせが決まったら、作業開始です！

まず、枠の線に沿って丸く切り、色紙の準備をします。

今回使った色紙は、運動会などでも使われているお花紙。とても薄いため光を通すと色が重なって見え、きれいなのですが、破れやすいという難点もあります。はさみで慎重に切っていきます。

切り終わったら、見本を見ながら折り紙をします。職員の間では難しいかな？ と話題にあがった折り紙の工程ですが、そこはさすがこどもたち！



大人よりスイスイと折っていき、あっという間に折り方をマスターしていました。

3枚とも折り終わった後は一旦紙を広げ、もようシートに被せてえんぴつで写します。全部写し終わったら、もとのように折り直し、はさみで模様の線に沿って切っていきます。この切る作業は中々に大変でした！細かいところも多く、こどもたちも集中して取り組んでいました。中には勢いよく切りすぎてしまったのか、「もう一度やり直す！」という子も。失敗しても落ち込むことなく、楽しそうに再チャレンジしていました。



全部切り終わったら、ちぎれたり、破れたりしないように慎重に広げていきます。

できあがった3枚を机に広げ、「どんな色の順番に重ねようかな?」「模様はどれが一番上がいいかな?」と考えながら枠に順番に貼っていきます。

最後は、きれいにピンと伸ばした状態で枠に挟み込んで、完成です!



同じ模様を選んでも、使う色紙の色や、重ねる順番で異なる印象の作品ができあがるオーナメント。子どもたちの作品も、見本とは全く違うオリジナリティのあふれるものができあがりました。

完成した作品をもって美術館の窓に駆け寄り、光に透かしてみながら記念写真を撮ってくれた子や、作り方シートと余った色紙を持って帰り、「また家で作るねー!」と元気よく言ってくれた子もいました。



今回、作業の中には難しく感じる工程もあったのですが、こどもたちはそれをものともせず楽しんでくれていて、無事開催できてよかったなと感じました。ステイホームや外出自粛が求められ一時は当館も臨時休館となりましたが、美術館という場所では体験できないことはあるはず、と改めて思いました。今後もみなさんに新しい体験の機会を提供できるよう、イベントを企画していきたいと思います。

(学芸員 大村)